

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 自然体験サポート集団

4.5

- 3 **視点** 子どもの居場所
- 3 **ひろば** 街づくりに思うこと
- 6 **実践記録シリーズ** 豊かな体験を子どもたちに
- 7 **サークル交流** 新津おりがみサークル (新津市中央公民館) / 親友会 (三和村公民館)
- 7 **素顔拝見** 高木公輔さん (広神村) / 小樋山勝さん (五泉市)



自然体験隊
「マリンスポーツ体験」
津川町



(社)全国公民館連合会(第四十四回)

通常総会開催される

去る六月十三日(金)、第四十四回全公連通常総会が東京虎ノ門パストラルにおいて開催された。当県公連からは、理事として今井会長が、会長代理として秋山副会長が出席した。以下、議事等の概要を報告する。

まず、来賓の文部科学省社会教育課折原課長から、祝辞と併せ教育基本法等についての中教審からの答申と、つい先ごろ全面改正された「公民館の設置及び運営に関する基準」の内容について説明があり、新鮮な情報の提供をいただいた。

平成の大合併の渦中で厳しい局面を迎えている公民館の今後のあり方についてはいくつかの選択肢に言及され、「あくまでも社会教育を基とした公民館として尽力してほしい」と結ばれた。このあと祝辞に立たれた井原公振連会長は「厳しい

平成15年度(社)全国公民館連合会役員名簿

顧問	大西 末廣	前全公連会長
会長	松下 誠	関東甲信越静ブロック(埼玉県)
副会長	松澤直太郎	東北・北海道ブロック(山形県)
副会長	鹿熊 久三	東海・北陸ブロック(富山県)
副会長	福岡 敬明	中国・四国ブロック(鳥根県)
副会長	佐藤 次郎	学識経験者
理事	今井 昭友	関東甲信越静ブロック(新潟県)
理事	植田 年明	近畿ブロック(大阪府)
理事	四元 泰盛	九州ブロック(鹿児島県)
理事	村松真貴子	学識経験者
監事	池田虎之助	前愛媛県公連会長
監事	小山 充	三重県公連会長
参与	坂本 好司	埼玉県公連副会長兼事務局長



国の方向の中、各市町村は本気で教育を考えてほしい」と檄を飛ばされた。続いて議事の審議に移り、十四年度事業報告・決算と十五年度事業計画案・予算案及び役員改選、また今年度三重県津市において開催する全国研究集会の内容と、来年度の同開催地を熊本市と決定することなど、すべての議案が異議なく承認さ

れた。このうち、今井理事が新潟県公連発行の配布資料「新潟県公民館月報六〇〇号抄」について説明、五十年間の熱く意義深い新潟県公連の歩みを紹介された。また参加公連からは、合併に関する全国レベルの情報提供を求める意見も出され、盛会のうちに終了した。(副会長、秋山千恵子記)

全国公民館振興市町村長連盟 平成15年度理事・代議員会(総会)開催

日時
平成15年6月25日(水) 午前11時～午後3時まで
(鈴木事務局長、オブザーバー出席)

場所
全国公民館連合会事務局会議室
東京都港区虎ノ門1丁目16-2虎ノ門東ビル3F
(案内図参照)

●電話 03-3539-1005 ●FAX 03-3501-3481

議事

- 第1号議案 平成14年度事業報告並びに収支決算について
- 第2号議案 平成15年度事業計画並びに予算について
- 第3号議案 役員改選について
- 第4号議案 その他



視点

子どもの居場所



新潟市坂井輪地区公民館
フリースペーススタッフ 立松 有美

土曜日の午後。今日も坂井輪地区公民館のフリースペースには、中・高校生のにぎやかな声が響いています。中学を卒業して違う高校へ通っている仲間たちと、連絡しなくてもここに来れば会える場所。子どもたちにとって、そんな『居場所』が学校以外に有りそうで無いのです。友だちとたまっていられる『居場所』はとも少ない。ここは『サタデイのび』と、子どもたちが名づけました。自由にのんびりできる場所だから。フリースペースは事務室の前

のロビーにあります。公民館利用者がひっきりなしに行き来し、事務室にはボランティアスタッフが居ます。大人たちから見られていることで、子どもたちは居心地が悪いのではないかと思いましたが、「大人の日があるから安心できる」と言います。大人が何かを働きかけたり教えるのではなく、暖かく見守ることで子どもたちの居心地のいい場所ができることをここで学びました。

ここで出会う子どもたちから、沢山の学びを得られることを楽しみにしています。

H O T N E W S 掲 示 板

第1回市町村合併問題調査検討委員会開催

1. 日 時 平成15年6月19日(木)
15時から16時40分
2. 会 場 新潟市中央公民館 203号室
3. 内 容

- (1)委嘱状の交付
- (2)正副委員長の選出
- (3)委員会の設置目的
- (4)委員会の活動内容
※第54回県大会の緊急アピール文案の検討
- (5)今後の会議及び研修予定
- (6)情報・意見交換
- (7)その他

市町村合併問題調査検討委員決まる

- ◎渡邊 徳廣 下越地区公民館連絡協議会副会長、理事・副会長
 - 秋山千恵子 上越公民館連絡協議会会長、理事・副会長
 - 神林 茂 中越地区公民館連絡協議会会長、理事・副会長
 - 雲尾 周 新潟大学教育人間科学部助教授、新潟市中央公民館運営審議会副議長
 - 佐藤 貞夫 新潟広域市町村圏公民館長代表、評議員
 - 武部 治雄 佐渡市町村(法定)合併協議会公民館長代表
 - 松田 光正 北魚沼6か町村(法定)合併協議会公民館長代表、評議員
 - 山岸 勲 北蒲原郡南部郷(法定)合併協議会公民館長代表
- ※◎委員長 ○副委員長

ひろば

赤泊村社会教育委員 石塚 紀子

自然の中を歩くことが好きです。暇を作って早足で歩きます。幸いあちこちでウォーキングの会が催されています。

佐渡では、ツデーマーチ、や、金の道など、島外県外の参加者の方が多い会が行われています。歩いてみると、普段車で通っては目に入らないものに出会えます。到る所で清澄な自然に心を慰められることが多いです。自然と日常の街並み、そのどちらをも美しく保とうとする「人」の心がこもっています。特に緑深い山や、青濃い海にはひかれます。

来年、佐渡ヶ島も合併を迎える予定です。私達の住む佐渡が誇りを持てるような街になることを期待しております。



ドイツのシュトゥットガルトは緑豊かな街です。過

- その他〔婦人会、山の会、猟友会等〕
- ウ【こだま】体験事業 (平成14年度 年間12回)
- (ア) 事業内容 (平成14年度実施したプログラム)
- 子どもセンター体験活動年間カレンダーを4町村の幼・保育園、小・中学校へ配布
- 【こだま】チャレンジ体験事業
- ①【春山ウォッチング】
- 『ヨモギだんごづくり&手打ちうどんづくり』
- ②【古代の生活にふれてみよう】(親子で選択)
- 『火おこし体験』『簡易炭づくり』『古代米炊き』『石焼きクッキーづくり』
- 『古代アクセサリーづくり』『刃物づくり』『古代スープづくり』
- ③【山の自然植物を見つけよう】
- 『植物観察』『押し花づくり&うちわづくり』
- 『豚汁づくり』『山のあじさい見学会』
- ④【夏の渓流を冒険しよう】
- 『水鉄砲づくり』『沢ガニ観察』『沢のぼり体験』『豚汁づくり』
- ⑤【夏山~星空への招待】
- 『星座観察』『カレーライスづくり』
- ⑥【秋の五頭山を制覇しよう】
- 『登山』『頂上でみそ汁づくり』
- ⑦【子どもセンター1周年記念祭】
- ~みんなで新しい発見をしよう~
- 自然散策、バームクーヘンづくり、竹筒パンづくり、ポップコーンづくり、腹話術、交通安全指導、皿回し体験、パットゴルフ、輪投げ、シャボン玉等
- ⑧【みんなといっしょに秋をみつけよう】
- テント体験、どんぐり・松ぼっくり、栗ひろい等



楽しい夕食を終えて

- ⑨【山の自然材料でリースづくり&アロマキャンドルづくり】
- 自然植物観察、ツルと木の実採集、リースづくり・籠づくり(選択)、豚汁づくり
- ⑩【お正月の準備をしよう】
- 『郷土に伝わる餅つき&鏡餅作り』&『門松づくり』
- ⑪【冬山の自然界イン子どもセンター】
- (1泊2日)
- 『かんじきハイキング』『ソリ遊び・かまくらづくり等』『アイスクリームづくり』
- (イ) 地域に根付いた青少年のボランティアの募集とリーダーの養成
- 地元在住の中学生、高校生、専門学生、大学生もボランティアとして、リーダーをサポートする活動へ定期的に参加するようになってきている。
- (ウ) 参加者の感想、リーダーと指導者の声
- 参加者の親子は、普段の生活で経験できなかった体験に満足感と達成感を味わうことができ、親子のコミュニケーションが図れたこと。地域交流により、知らなかった親や子ども同士の仲間意識が芽生えたと喜んでいる。
- リーダーや指導者は、若い世代からお年寄りまで幅広い年代が多い。その中で指導者同士の協調性や支え合いが芽生え、みんなで地域や社会に貢献しているという連帯意識が高まっている。
- (エ) 成果と課題
- 平成13年度から体験事業における企画・立案、そして指導者登録等の準備を進めてきたが、大半の方は、指導者としての経験が乏しいため、



沢のぼりに挑む

指導者の事前研修会を実施した。そのための日程調整と事前準備に時間を要した。

事業を意図的・計画的に進めるにあたり、親同士が主体的に子どもの活動を支援できるよう、親子10人1組のグループ編成で共同作業・体験を積み重ねた。

親同士が要項・レシピを見ながら作業手順をすすめ、協力しながら自主的・自発的に取り組む姿がみられた。その中から親同士、子ども同士の親睦・融和が構築された。

(3)5市町村連携による『やまびこキャンプ』の実施概要

(ア) 概要

五頭連峰少年自然の家を活動拠点として、広域5市町村に在住する小学校4~6年生を対象として、学区外・異年齢集団の相互交流を図った。ここでは、人間関係づくりや子どもたちの自主性・社会性をはぐくみ、ジュニアリーダーを養成する。

8月5日~7日(2泊3日:119名参加)の日程で実施。参加者の意識調査から、多くの児童は人間関係づくりを求めている。

運営面では、事前研修を生かし、各市町村の職員と十分な打ち合わせができたことやボランティアの教員、大学生、高校生、中学生が活躍してくれたことが大きな収穫であった。

14年度は、京ヶ瀬村教育委員会社会教育課が事務局となり、昨年度の課題を踏まえて事業を遂行できたことに敬意を表したい。

(イ) 反響、広域5市町村の評価、今後の課題等

児童の事前アンケート調査では、大半の児童生徒は参加するに当たって、『友達ができるのか』『みんなと仲良くできるのか』等、不安と期待を胸にキャンプへ参加した。しかし、事後アンケート調査では、『友達がたくさんできた』『これからもみんなと友達でいたい』『友達と離れたくない』等、学区外・異年齢集団でのキャンプでたくさんのことを学ぶことができたと言えよう。

一昨年は、児童のグループ活動(10人1組)では、5市町村の行政職員がグループリーダーとして各班へ所属していたが、行政職員、教員、大学生、高校生、中学生と縦割り編成で児童の班へ所属し、リーダー、サブリーダー、ジュニアリーダーとして組み入れた。このことにより、子どもたちはもちろんであるが、ボランティアとして参加された教員、学生、生徒も所属意識を持ち生き生きと活動していた。

なお、地元の中学生、高校生のリーダーとしての意識が高まっている。これを機に、キャンプに参加した小学6年生が次年度のキャンプにボランティアとして参加し、中学生、高校生も上級学校へ進学後もジュニアリーダーとして参加できるよう体制を整備している。

平日のキャンプであるため、行政職員が指導者として運営してきたが、一般のボランティア、子どもセンター指導者支援委員会の方より運営面に携えるよう平成15年度は計画している。

3. おわりに

広域連携事業への取り組みにあたり、笹神村教育委員会をはじめ、広域市町村の教育委員会から多大のご指導とご支援をいただいたことに深く感謝申し上げます。また15年度新規事業組織が十分機能でき、五頭連峰少年自然の家を拠点とした業務が円滑に遂行できるよう精一杯努力していきたい。

自然体験 サポート集団

特集

広域連携による

青少年体験活動の推進事業

『南部郷地域子どもセンター』の設置



挑戦者全員集合

五頭連峰少年自然の家
派遣社会教育主事

佐藤 善也



1. はじめに

平成13年度より学校5日制へ向け、五頭連峰少年自然の家を本部とし、南部郷地域子どもセンター(安田町・京ヶ瀬村・水原町・笹神村の広域4町村)が設置された。

4町村に在住する親と子を対象とした情報誌の発行。そして、五頭連峰少年自然の家を拠点とする体験事業が実施された。また、豊栄市を含めた5市町村による『やまびこ』キャンプをより充実させるために、各市町村の教育委員会、小・中学校並びに各関係機関、そして地域住民の方々やボランティア等、多くのご支援・ご協力をいただいている。以下、取り組んで来た14年度の概要を紹介したい。

2. 14年度の実践

(1) 全国子どもプラン推進事業の取り組み概要

平成13年度に笹神村が文部科学省：全国子どもプラン推進事業(国補・委託)を受け、安田町、京ヶ瀬村、水原町の連携事業として、南部郷地域子どもセンターを発足する。

そこで、4町村の幼・保育園、小学校、中学校の親子への休日の過ごし方、各町村の事業紹介などを受発信するための情報誌『こだま』を発行している。

ア 南部郷地域子どもセンター協議会運営組織

- (ア) 南部郷地域子どもセンターを五頭連峰少年自然の家に設置(本部・事務局)
- (イ) 準備委員会(4町村教育委員会生涯学習課・社会教育課社会教育主事各1名)
- (ウ) 課長会議(4町村教育委員会生涯学習課長・社会教育課長各1名)

- (エ) 準備会(会長1名、副会長1名、本部、事務局)
- (オ) 南部郷地域子どもセンター協議会(43名)
- (カ) 支援委員会(情報誌、広報・啓発活動)
- イ 南部郷地域子どもセンター協議会
 - (ア) 協議内容(情報誌、体験事業内容の充実、評価、啓発等)
 - (イ) 情報誌発行(年5回発行：1回発行につき8,400部)
 - ウ 情報誌の記載内容(主な内容)
 - (ア) 休日における親や子ども向けの事業紹介や子育てに関する紹介等
 - (イ) 子どもセンター体験事業や各町村の事業報告、親や子どもたちの参加の感想等
 - (ウ) 各関係機関の情報提供
 - 体験活動の指導者紹介
 - 親や子どもたちの悩み相談
 - 図書館紹介
 - 水原警察署・水原地区防犯連合会からの情報等
- エ 情報誌配布と設置箇所
 - 各町村の教育委員会を通じて幼・保育園(19)、小学校(14校)、中学校(4校)の幼・保育園児、児童生徒へ全員配布。また、各町村の行政関係及び社会教育委員、各関係機関、公民館、体育館等の公共施設へ設置する。

(2) いきいきウィークエンド夢事業の取り組み概要

平成14年度より、安田町、京ヶ瀬村、水原町、笹神村の4町村広域連携事業(県補・4町村負担)として、五頭連峰少年自然の家を拠点とする子どもセンター体験事業を実施した。([こだま]チャレンジNO. 1~12)

事業を通して、親と子の絆を深める共同体験と地域交流を深めるグループ共同体験に主眼をおき、社会性と協調性を養うことを目的としている。

ア 南部郷地域子どもセンター体験事業運営組織

- (ア) 南部郷地域子どもセンター体験支援委員会本部を五頭連峰少年自然の家に設置
- (イ) 準備委員会(4町村教育委員会生涯学習課・社会教育課代表各1名)
- (ウ) 支援委員会〔指導者登録：個人(32名)・サークル団体(11団体)〕
- (エ) 事務局(五頭連峰少年自然の家)
- (オ) 事務局窓口(各町村生涯学習課・社会教育課)

イ 体験指導者支援委員会研修会

(ア) 支援委員会([こだま]チャレンジ指導者)
事業では、多才な趣味・特技を兼ね備えた方々がリーダーとなり、年間活動計画に沿って指導者となり活躍している。

(イ) 事業運営における指導者事前研修会

五頭連峰少年自然の家(1泊2日)に、当センター体験指導者支援委員会に所属する個人・サークル団体、4町村センター担当職員が集まり、実技研修を実施する。

◆体験活動支援委員会に所属する個人・団体の方々が指導者となる。

- ① 間伐材を使用したクラフトづくり
[NPO里山クリーン新湯(笹神村)]
- ② 野外炊飯：手打ちうどんづくり
[野外活動班(4町村含む隣接町村)]
- ③ 毒草の見分け方と対応の処置(外部接触)
[自然観察指導員(京ヶ瀬村)]
- ④ 友達づくりのレクリエーション
[水原町レクリエーション協会]
- ⑤ 星の観察会〔趣味の会(安田町)〕

実践記録 シリーズ 64

豊かな体験を子どもたちに ～完全学校週5日制の趣旨を生かして～

守門村教育委員会 派遣社会教育主事 関谷 昭夫

1 はじめに

生涯学習審議会答申(H11.6.9)では、子どもたちの豊かな心をはぐくむためには、家庭や地域社会で、様々な体験活動の機会を子どもたちに「意図的」・「計画的」に提供する必要があることを答申している。また、教育関係者だけでなく、おとな一人一人が、それぞれの立場で子どもの問題に関心をもち、さまざまな取り組みが地域で行われることを期待している。

守門村では完全学校週5日制を目前に控えた平成13年度に、子どもと保護者の生活実態や意識の調査を実施した。

その結果、自然豊かなこの地域でも「自然体験が少ない」と感じている保護者は50%以上で、全国調査(H10実施)と比較しても高い数値を示した。また、生活体験や社会体験も全校調査と同様な結果であった。校外活動で子どもや保護者が望む活動では、「自然体験」と「スポーツ活動」が高い数値を示した。

家庭や地域へのきっかけ作りとして試行事業「みんなで遊ぼうの日」を2回行った。また、住民学習機会として「村おこし守門大学」中で、完全学校週5日制をテーマにした講座を実施した。



2 守門わいわいKidsセンターの取り組み(平成14年度から)

基本構想

- 進んで活動へ参加する子どもたちの育成「すすんで」
- 家庭、地域全体で子どもを育てる体制作り「みんなで」
- 家庭教育力の向上「すくすく」

守門わいわいKid'sセンター構想

- 子ども体験活動事業
- 地域活動活性化事業
- 親子活動支援事業

3 子ども体験活動事業の実践

○そば打ち体験教室

守門村福山地域で収穫したそば粉を使って、親子でそば打ちの体験を行った。

そば打ちは初めて、という親子がほとんどで興味津々、有意義に活動していた。



そば打ち体験

○ブーメラン工作教室

日本ブーメラン協会会員である



ブーメラン工作教室

講師の方を招いて、工作教室を行った。紙を使った室内ブーメランをメインに活動した。家庭にある厚紙からオリジナルブーメランを作り、みごとキャッチすることができた。

○手話体験教室

地域の手話ボランティアの方を講師に招いて体験教室を2回にわたって実施した。

講師の方の優しい人柄と指導により、参加者は知らず知らず手話の世界に入り込んでいった。



手話体験教室

このほかに、紙ヒコーキ教室や炭焼き教室、ニュースポーツ教室など様々な活動に取り組んだ。

参加した子どもたちは、一様に「楽しかった」「新しい発見があった」と語っている。しかし、参加者は各事業で20人前後であり、もう少し多くの参加者が欲しいと感じる時もあった。多く参加すればよい、というものではないが、週末活動の選択肢の一つとして、子どもたちや保護者へ定着するような取り組みが求められる。

4 おわりに

本年度から、県の補助(いきいきウィークエンド夢事業)を受け入広瀬村と連携を持たせた事業を展開している。

それぞれの地域の持ち味を大切にした事業を展開しようと計画している。学校との連携や情報PRをより工夫し、充実した事業になるように関係各位の支援をいただきながら努力していきたい。

おりがみで自己表現

新津おりがみサークル

おりがみサークルを始めて十五年になります。

学校週五日制をきっかけに新津市レクリエーション協会では土・日曜日に子ども達を受け入れ、一緒に活動してくれるサークルを募り「プチサークル活動にいつ」を始めました。やきもの、マジック、将棋、おりがみ等9サークルの協力で昨年より活動しています。



おりがみサークルでの子ども達の作品には自己主張があります。同じ作品を折っても

構成の段階で個性がヒカリます。それに刺激を受け、大人も工夫する楽しさを知りました。幅広い年代がおりがみを通して自己表現をしています。十一月には県立植物園でおりがみの展示会があります。子ども達との合同作品をどうぞご覧ください。

新津おりがみサークル 真野 とみ 記



スポーツダンスで、心も体もリフレッシュ

三和村 親友会

七年前、公民館の学習サークルとして発足し、その後自主活動サークルとして続いています。会員は十八名、七十歳代の方もいますが、どなたも実年齢がわからない位、元

気で若やいでいる方ばかりです。ダンスは音楽と共に、からだを動かす無理のない全身運動です。しかも楽しさは抜群。毎月曜日



の午前、公民館のホールで動きまわり、さわやかな汗を流しています。

タンゴなどモダン三種とルンバなどラテン四種はマスターし、時には、近隣市町村のサークルと交歓会も行っています。

ダンスは正しい基本さえ覚えれば、決してむずかしいものはありません。上達すれば奥が深く、一生の趣味として楽しめそうだと思います。

親友会代表 井沢 幸夫 記

5月に、とてもきれいな女性とめでたく結婚され、今のりにのっており輝いている男だ。

富山県出身、役場の中ではバレー部・野球部・卓球部に所属し、特にバレーボールでは、気合十分、「熱き男」として活躍している。

主に埋蔵文化財事業を担当しているが、他にも社会教育、公民館活動と休日や夜間までもフル回転し、彼の存在は



広神村教育委員会 主事 高木公輔さん

なくてはならないものとなっている。仕事での失敗や苦勞も、へこたれず打たれ強い性格は実に頼もしい。子ども達からも絶大の人気を誇る。これからも忙しい日々が続くだろうが、奥さんを大切に！どんな時も、体力(知力・徳力)勝負だ!! 共に汗を流し、頑張ろう!! (教育委員会次長 小幡 誠一 記)

素顔拝見

「五泉で一番ジャージの似合う次長」として、五泉市公民館にやってきて、はや3年目。ある時はスーツ姿の一見カタブツな課長補佐、またある時は作業着姿で施設の管理業務までこなす、まさに生涯学習課の“スーパーマン”。

かと思えば、公民館主催の料理教室で見事な包丁さばきで周囲を驚かせるような繊細な一面も見せます。



五泉市公民館 次長 小樋山勝さん

こんな表と裏の顔を持つ?小樋山さんですが、実は1日に2箱も吸うヘビースモーカー。最近どこも禁煙で、少し肩身が狭いようです。

文句のつけようのない次長ですが、一言だけ言わせてもらうなら、体のために、もうちょっとタバコを控えていただいて、今以上に五泉の生涯学習課を引っばって行って欲しいです。

(五泉市公民館 横山 泰巳 記)

おとしよりのための生涯学習シリーズ(9)、サブタイトル「長生きも芸のうち」と銘打った冊子が、くびきむらから恵送されて参りました。

編集・著者は、「老いに撃ち勝つ」で新潟出版文化賞を受賞されたことのある名物館長外ノ池一さんです。

内容は、社会事象や普段の日常生活の中から何気なく気づかれた感想、故事来歴等についてのご自分のことばでの発信、ついでに内容にのめり込んで最後



おとしよりのための生涯学習シリーズ(9)
生き生き人生
 著者 外ノ池一
 発行 平成14年度
 新潟県立自然科学館

おとしよりのための生涯学習シリーズ(9)まで読み通すこととなります。内容から事例一つ「七字うた」(偉い坊さんのことば)よわねをはくなくよくよす

くびきむら教育委員会

おとしよりのための生涯学習シリーズ(9)より

るな なきごというな うしろをみるな
 ・ここでご自分で解説そして言い換え
 よわねをはききつちやおうよくよしちやおう なきごといつちやおう うしろをみちやおう

・落ししコメント
 生身の人間だもの その後変わればいいのです。悲しみ上手。まだくユニークな事例が沢山掲載されております。

Network ネットワーク

第43回社会教育研究全国集会(岡山集会)のご案内

くらしと地域を拓く力を創る社会教育～一人ひとりが自分らしく生きるために～

2003岡山集会

- 主催 第43回社会教育研究全国集会岡山集会実行委員会、社会教育推進全国協議会
- とき 2003年8月23日(土)・24日(日)・25日(月)
- ところ 8月23日・25日の全体会会場 就実大学(岡山市) 24日の分科会会場 就実大学他 23日夜の全体交流会会場 岡山プラザホテル

■日程

日程	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
23日					受付	第一全体会	課題別学習会	移動	全体交流会				
24日		分科会	昼食			分科会				この指とまれ			
25日			第二全体会				オプションツアー						

- 費用等 (1)集会参加費 5,000円/学生及び1日参加3,500円(集会資料集及び報告集を含む)
- (2)全体交流会費 3,000円(一流ホテルのシェフによる料理、郷土料理と地酒もあり)
- (3)24日昼食代 1,000円

- 参加申込 所定の郵便払込用紙に、必要事項(名前・住所・電話・所属・課題別学習会番号・分科会番号・全体交流会の参加・24日昼食の注文・オプションツアーの希望)を記入の上、合計金額をお振り込みください。口座番号

00140-5-148793 社会教育研究全国集会実行委員会 締切り 2003年8月5日

- 宿泊 学生及び県内参加者の宿泊は、岡山集会実行委員会にお問い合わせください。

(問合せ) コープツアーズ
 TEL 086-256-1125 FAX 086-256-2534

event information

平成15年7月の催物ご案内

夏の特別展

探検!からだのひみつ

7月25日(金)
8月31日(日)

(主な展示)

私達のからだをコントロールする脳を中心に、骨・心臓・腎臓などの最新情報をもとに、からだにかくされたいろいろな「ひみつ」を探ります。

- ◆くらべてみよう 動物の骨や脳・ゾウやトラなどの動物の骨や脳を展示し、ヒトとの違いを紹介します。
- ◇昔の新潟の人が見たヒトのからだ…県内で初の腑分け(解剖)の記録と伝えられているヒトの解体図

(1832年)などを展示します

- ◆電子顕微鏡で見たからだの小さな部分(ひみつ)…電子顕微鏡をとおして、普段見ることのできないからだの小さなつくりを紹介します。
- ◇お医者さんのつもりで触ってみよう!いろいろな医療器具…お医者さんが使っている医療器具を実際に触ったり、操作したりできます。

また、瞬間視により「見る能力」を測定するコーナーやからだのバランスをとる体験コーナー、からだの思い違い(錯覚)など、からだのふしぎをいろいろ体験するコーナーもあります。

プラネタリウム夏番組

「おじやる丸 いん石小僧がふってきた!」

6月7日(土)
8月31日(日)

(内容) ある夜、妖精貴族「おじやる丸」が住む月光町の夜空に流れ星が降ってきました。それは宇宙から落ちてきた「いん石小僧」。電ボやカスマは宇宙に返そうとしますがよい方法が見つかりません。そこへトミー

爺が「今夜は赤い月の夜ですよ。」夜空には真っ赤なお月様。それは宇宙につながる満月ロードだったのです! さあ、やんごとなきみやびな妖精貴族「おじやる丸」の冒険が始まりました。今回の番組では、おじやる丸の活躍とともに、美しい夏の星座や星空を紹介します。



7月の休館日は
7日(月)、14日(月)、15日(火)、22日(火)、23日(水)、28日(月)です。

※毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)の定休日のほかに、設備点検整備等のための休館日があります。(7月は15日(日)、23日(水)です。)(8月の休館日は、4日(月)、18日(月)、25日(月)の予定です。)

〒950-0948 新潟市女池南3丁目1番1号

新潟県立自然科学館

あ と が き

市町村合併問題調査検討委員会も、去る6月19日(木)8人の委員をもって正式発足いたしました。調査・情報収集・研修等とおして、活動が軌道にのっていくものと思われま

第44回関プロ大会第15分科会では、本県の市町村合併問題、とくに新潟地域広域圏についての事例発表がなされる予定で、現在準備中です。只今のところ66人参加予定です。(鈴木 記)

表紙解説 自然体験隊「マリンスポーツ体験」(津川町公民館) 町の中心を流れる「阿賀野川」で、マリンスポーツを楽しみ、大自然のスケールの大きさを味わいます。

発行所 新潟県公民館連合会 発行人/会長 今井昭友 編集人/事務局長 鈴木友夫 Eメール/ni-koren@juno.ocn.ne.jp
 〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 TEL・FAX (025) 224-6073

印刷/第一印刷所 〒950-8724 新潟市和合町2-4-18 TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776 【定価1部150円 年共・年極1,800円】